

大江戸線延伸ニュース 第16号



平成29年3月発行

発行：大江戸線延伸促進期成同盟
練馬区大江戸線延伸推進課
【電話】03-5984-1584 【FAX】03-5984-1226



都や国の位置付けを受けて、早期着工に向けた取り組みを加速しています！！

大江戸線の延伸は、27年7月、都の「広域交通ネットワーク計画について」で優先的に整備を検討すべき5路線の1つに選定され、28年4月には、国の答申で「進めるべき」プロジェクトに位置付けられるなど、延伸に向け大きく前進しました。

区は、延伸に向けた取組を更に加速し、早期着工を目指していきます。大江戸線延伸促進期成同盟でも、これまで以上に地域・区議会の皆様と区で連携し、東京都への要請活動や啓発活動など早期着工に向けた活動を精力的に行っています。

©練馬区 練馬区公式アニメキャラクター ねり丸

平成29年度の区的主要な取組

大江戸線延伸の早期着工へ向けて、基金の積み増しとまちづくりを推進します



取組1 延伸推進基金に10億円積み増し(合計36億円)

大江戸線延伸の実現に向けては、区が積極的に役割を果たす必要があります。延伸実現に向けた活用を図るため、大江戸線延伸推進基金を10億円積み増します。

これまでの積立額

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29(予定)
積立額	5	2	2	2	5	10	10
累計	5	7	9	11	16	26	36

(単位：億円)

取組3 事業予定者である東京都との実務的協議

平成27年1月から継続して東京都と協議を行っています。これまでに延伸の意義や必要性、収支採算性の考え方、延伸地域のまちづくりの考え方等、基本的な事項について都区間で認識を共有しました。

今後、都区の役割分担を明確にし、課題とされる費用負担のあり方などについて協議を進めていきます。

取組2 沿線地域のまちづくりを推進

大泉学園町駅(仮称)予定地周辺では、地域の方々とまちづくりに関する話し合いを行っています。今月中に、駅前広場の整備や、公共施設の集約化などを踏まえた、まちの将来像を取りまとめます。29年度は、駅前広場や建築物の共同化に係る事業計画(案)の検討などを進めます。



大泉学園町駅(仮称)予定地周辺



地域の方々と活発に議論しています

取組4 早期着工に向けた促進活動

延伸の意義や整備効果等を多くの人にわかりやすく周知し、区民一丸となって早期着工を都に要請していきます。

一日も早い着工を目指し、全力で取り組みます！引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします

【平成28年度の主な取組報告】

大江戸線延伸促進大会を開催！

昨年10月、大泉第一小学校にて、「大江戸線延伸促進大会」を開催しました。大会では、地域の力を結集して、国や東京都に対し、早期着工に向けた手続きを進めるよう要請していくことを決議しました。(決議文は裏面参照)



延伸の決意を示す前川会長(練馬区長)



過去最多の1,200名が参加

熱い思い届け！

早期着工を東京都へ要請！

1月30日、東京都に対し、大江戸線延伸促進大会で決議した内容を踏まえ、早期着工に向けた調査・手続きの開始など具体的な3項目を要望しました。

(要望書全文は裏面参照)



要望書の提出

(写)

大会決議

練馬区は、72万の人口を抱え、今なお増え続けている、全国で19番目の大都市である。農地や樹林地など豊かなみどりが残る一方で、発展が急激であったために、鉄道や道路などのインフラ整備が不十分のまま都市化が進んできた。

私たちは、鉄道空白地域の改善や都市計画道路を整備することで、地域のポテンシャルを最大限引き出し、豊かなみどりと都市の利便性を兼ね備えた、後世に誇れるまちづくりを実現していく決意である。

なかでも大江戸線の延伸は、重要な意義を有しており、昨年7月に都が発表した広域交通ネットワーク計画で「優先的に検討すべき5路線」に、また、本年4月には国の諮問機関である交通政策審議会の答申で「進めるべき6つのプロジェクト」に位置付けられた。都と国において、整備に向けた明確な位置付けを得て、いよいよ、「着工」に向けた取り組みを進めるべき時がきた。

区民・区議会・区は、ここに大江戸線延伸促進大会を開催し、その総意をもって東京都に対し、大泉学園町への大江戸線延伸の着工に向けて、調査・手続きを早期に進めるよう要請する。

以上、決議する。

平成28年10月30日

大江戸線延伸促進大会

(写)

都営地下鉄大江戸線延伸の早期着工に関する要望書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

都営地下鉄大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町）は、平成27年7月に東京都が発表した「広域交通ネットワーク計画について」において、優先的に検討すべき5路線の一つに選定され、また、昨年4月には国の諮問機関である交通政策審議会の答申で「進めるべき6つのプロジェクト」に位置付けられました。

本路線は、首都圏の鉄道ネットワークを充実・強化するうえで欠くことのできない路線であり、東京都区部にわずかに残る鉄道空白地域を大きく改善するものです。また、豊かなみどりが残る地域に、都市の利便性を兼ね備えることで、延伸地域のポテンシャルを最大限引き出し、良好な住宅都市を形成することができます。

大江戸線の延伸は、区および地域住民の長年の悲願であり、区民・区議会・区は一体となって早期実現に向けて取り組んでいます。昨年10月に行った大江戸線延伸促進大会では、これまでの促進大会の中で最も多い1,200名の方が参加し、早期着工を東京都へ要請していくことを決議しました。

促進大会での決議を踏まえ、以下の3点を進めていただくよう要望します。

記

- 1 大江戸線の延伸について、練馬区と協議を進め、事業化に向けた考え方を示すこと。あわせて、着工に向けた調査・手続きを早急に開始すること。
- 2 都市計画道路補助230号線の用地取得を速やかに進め、大江戸線延伸に必要な導入空間を早期に確保すること。道路整備にあたっては、大江戸線延伸に合わせた設計と工程調整に努めること。
- 3 周辺道路や交通広場の整備による円滑な交通環境の確保、土地の有効利用の促進など、練馬区が実施または検討しているまちづくりへの協力・支援に努めること。

平成29年1月30日

大江戸線延伸促進期成同盟
会長（練馬区長） 前川 耀 男

東京都知事 小池百合子様